

平和を仕事にする 自衛隊の仕事図鑑



陸上自衛隊の職種一覧

<p>普通科 地上戦闘の骨幹部隊として、機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に決着をつける重要な役割を果たします。</p>	<p>特科(高射特科) 対空戦闘部隊として侵攻する航空機を要撃するとともに、広範囲にわたり迅速かつ組織的な対空情報活動をを行います。</p>	<p>施設科 戦闘部隊を支援するため、各種施設器材をもって障害の構成・処理、陣地の構築、渡河などの作業を行うとともに、施設器材の整備などを行います。</p>
<p>機甲科 戦車部隊、機動戦闘車部隊、水陸両用車部隊及び偵察部隊があり、戦車などの正確な火力、優れた機動力及び装甲防護力により、敵を圧倒撃破するとともに迅速に機動します。</p>	<p>情報科 情報に関する専門技術や知識をもって、情報資料の収集・処理及び地図・航空写真の配布を行い、各部隊を支援します。</p>	<p>通信科 各種通信電子器材をもって部隊間の指揮連絡のための通信確保、電子戦の主要な部門を担当するとともに、写真・映像の撮影処理などを行います。</p>
<p>特科(野戦特科) 火力戦闘部隊として大量の火力を随時随所に集中して広域な地域を制圧します。</p>	<p>航空科 各種ヘリコプターなどをもってヘリ火力戦闘、航空偵察、部隊の空中機動、物資の輸送、指揮連絡などを実施して、広く地上部隊を支援します。</p>	<p>武器科 火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備、不発弾の処理などを行います。</p>



海上自衛隊の職域一覧

<p>射撃 護衛艦などにおいて、砲、ミサイルを操作し、各種目標に対する攻撃を実施します。また弾火薬などの取扱を実施します。</p>	<p>気象・海洋 気象・海洋観測、天気図類の作成、気象・海洋関係の情報の伝達に関する業務を行います。</p>	<p>飛行 P-3C/P-1哨戒機、US-2救難飛行艇、SH-60J/K哨戒ヘリコプターなどの搭乗員として飛行任務を実施します。</p>
<p>通信 陸上基地、艦艇及び航空機などの通信、暗号の作成及び翻訳、通信機材・暗号器材及び関連機材の操作整備を業務としています。</p>	<p>航海・船務 航海は、艦艇の艦橋において航海に関する業務を実施します。船務は、レーダー・電波探知機などを活用し、戦術活動を実施します。</p>	<p>機関 エンジン（ガスタービン、ディーゼルなど）発動機などの運転、整備及び火災、浸水対処などを業務とします。</p>
<p>水雷 護衛艦、潜水艦で魚雷などの水中武器、ソナーなどの水中搜索機器を操作し、潜水艦の搜索、攻撃及び器材の整備を行います。</p>	<p>給養 艦艇及び陸上部隊において、隊員に対する給食業務を実施します。</p>	<p>航空機整備 航空機の機体、エンジン及び計器並びにこれらを維持するための器材などの整備、修理、補給などに関する業務を行います。</p>



航空自衛隊の職域一覧

<p>操縦 戦闘機、輸送機、偵察機及び政府専用機などを操縦し、防空、航空偵察、航空輸送及び航空救難などを行います。</p>	<p>高射 侵攻してくる弾道ミサイルや航空機、巡航ミサイルを撃破するため、パトリオットミサイルシステムの操作及び器材の整備を行います。</p>	<p>通信 通信器材を操作し、電報などの送受信を行うほか、器材の整備管理などを行います。</p>
<p>航空管制 航空自衛隊の飛行場（共用飛行場を含む）における航空交通管制業務を行います。</p>	<p>電算機処理 電子計算機及び関連器材の操作やプログラムの作成、電子計算機システムの管理を行います。</p>	<p>武器弾薬 航空機に搭載される武器弾薬などの補給、管理、整備を行います。</p>
<p>警戒管制 日本の領空を常時監視し、接近又は侵入してくる航空機を早期に発見・識別し、必要に応じて戦闘機の誘導を行います。</p>	<p>気象 航空機の離着陸及び飛行安全確保のため、気象観測・予報を行い、各種気象情報を全国の部隊に通報したり、天気図の作成を行います。</p>	<p>航空機整備 航空機のエンジンや搭載する電子機器類、レーダーなどの整備及び航空機の定期整備を行います。</p>

自衛隊はいろいろな職種の内衛官と、防衛事務官・防衛技官などによって成り立っています。陸、海、空自衛隊にはきっと皆さんも興味を持つ様々な職種・職域があります。ここではその一部を紹介いたします。まずは「[自衛官適職診断](#)」から自分に合った職種・職域と見比べてみてください。

自衛隊の仕事がよくわかる！

自衛官募集
ホームページ



動画もチェック



防衛事務官・防衛技官等
募集はこちら

陸上自衛隊HP <https://www.mod.go.jp/g sdf/>



需品科

糧食・燃料・需品器材や被服の補給、整備及び回収、給水、入浴洗濯などを行います。



警務科

警護、道路の交通統制、隊員の規律違反の防止、犯罪捜査など部内秩序の維持に寄与します。

陸上自衛隊の職種詳細は
こちらからご覧ください



輸送科

大型車両をもって部隊、戦車、重火器、各種補給品を輸送するとともに、輸送の統制、ターミナル業務、道路交通規制などを行います。



会計科

隊員の給与の支払いや、部隊の必要とする物資の調達などの会計業務を行います。



音楽科

隊員の士気を高揚するための演奏や広報活動に関する演奏を行います。



化学科

各種化学器材をもって放射性物質などで汚染された地域を偵察し、汚染された人員・装備品などの除染を行います。



衛生科

患者の治療や医療施設への後送、部隊の健康管理、防疫及び衛生器材の補給・整備などを行います。

海上自衛隊HP <https://www.mod.go.jp/m sdf/>



経理・補給

給与・旅費などの計算、物品の調達、部隊の任務を遂行するために必要な装備品などを準備し、供給する業務を実施します。



情報

情報資料の収集、処理及び情報の配布、秘密保全などを業務とします。

海上自衛隊の職域詳細は
こちらからご覧ください



航空管制

飛行場及びその周辺を飛行する航空機に対する航空交通管制業務や艦艇において航空機に必要な情報を提供する業務を行います。



地上救難

海上自衛隊の飛行場、また護衛艦に搭載する航空機で発生した火災の対処、搭乗員の救助作業などを行います。



音楽

音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚します。また、広報活動に関する業務を行います。



施設

固有財産についての管理、運用、施設器材・施設車両を用いての建設、道路などの工事及び器材の設備を行います。



衛生

病院における医療及び医務室における健康管理や身体検査を実施するとともに、潜水に関する調査・研究を業務とします。



機雷掃海・潜水

掃海艦艇などで掃海具などを操作し、機雷の処分などを行います。また、潜水により浅海域における機雷・不発弾等の処分等を行います。

航空自衛隊HP <https://www.mod.go.jp/a sdf/>



施設

基地内施設の維持管理（土木・建築・電気など）及び航空機事故や建物火災など非常時の消火、人命救助などを行います。



警備

基地内巡察などを行い、基地の施設や物品の警戒などを行うほか、基地内・基地出入者の監視などを行います。

航空自衛隊の職域詳細は
こちらからご覧ください



衛生

隊員の健康診断及び各種身体検査のほか、医療、環境衛生、食品衛生検査を行います。



音楽

航空自衛隊には5つの音楽隊があり、国の行事や自衛隊の公式行事の時に演奏を行います。



会計

隊員の給与・旅費の支払いや、部隊などの任務遂行に必要な物品などの調達を行います。



補給

航空自衛隊で使用する物品の需給統制、在庫管理、取得出納、保管などを行います。



輸送

航空自衛隊で装備・使用されている車両で、人や貨物を輸送したり、航空機へ貨物を搭載したりする業務を行います。



宇宙

防衛省・自衛隊の多様な任務に重要な宇宙空間の安定的利用のため、宇宙領域専門部隊において、国内関係機関及び米軍と連携して、宇宙状況監視などの業務を行います。

自衛官とは

自衛官は特別職の国家公務員としての身分が保証されており、給与、保険など安定した処遇・福利厚生のもと、目標に向かって邁進することができます。また、一言で自衛官といっても、それぞれの役割に応じて階級が異なります。

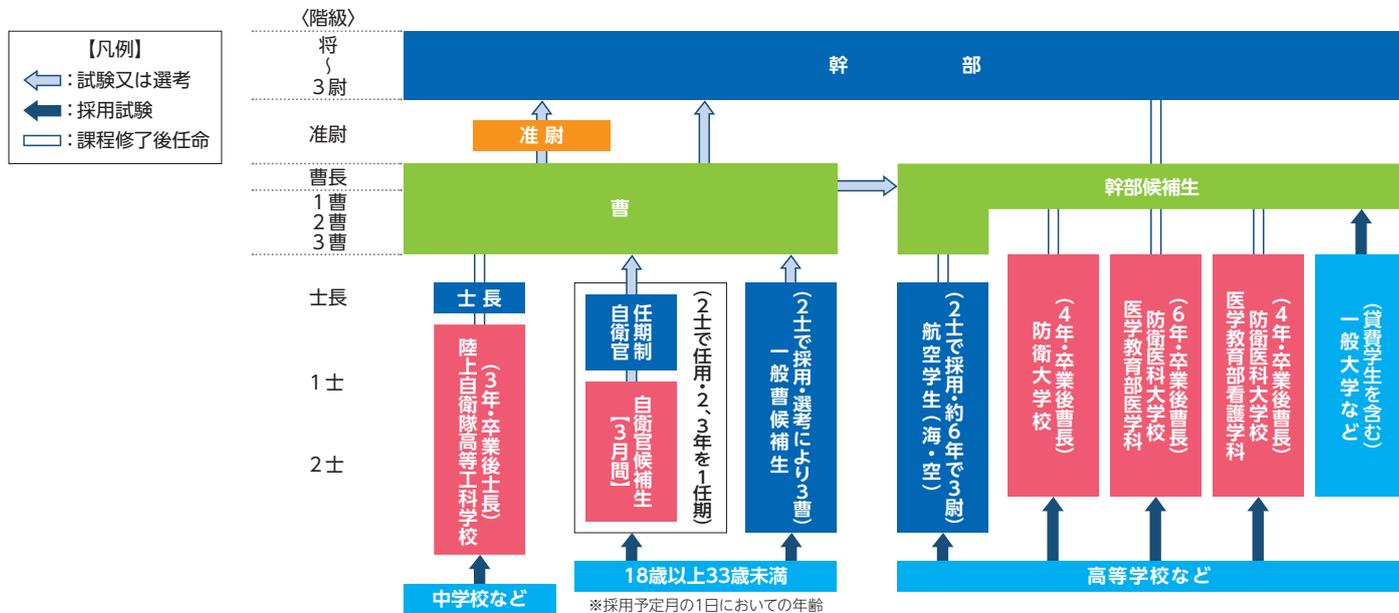
幹部自衛官 …… 組織のリーダーとなる自衛官

准曹士自衛官 …… 各部隊の中核となる自衛官

予備自衛官・即応予備自衛官 …… 招集命令に応じて自衛官となり、任務にあたる非常勤の特別職国家公務員

階級章

共通呼称	陸上自衛隊	海上自衛隊	航空自衛隊
幹部自衛官	☆☆☆☆ 陸上幕僚長	海上幕僚長	☆☆☆☆ 航空幕僚長
	☆☆☆ 陸 将	海 将	☆☆☆ 空 将
	☆☆ 陸将補	海将補	☆☆ 空将補
	1等陸佐	1等海佐	1等空佐
	2等陸佐	2等海佐	2等空佐
	3等陸佐	3等海佐	3等空佐
	1等陸尉	1等海尉	1等空尉
	2等陸尉	2等海尉	2等空尉
	3等陸尉	3等海尉	3等空尉
准曹士自衛官	准陸尉	准海尉	准空尉
	陸曹長	海曹長	空曹長
	1等陸曹	1等海曹	1等空曹
	2等陸曹	2等海曹	2等空曹
	3等陸曹	3等海曹	3等空曹
	陸士長	海士長	空士長
	1等陸士	1等海士	1等空士
	2等陸士	2等海士	2等空士



主要装備品の紹介

陸上自衛隊の装備品



12式地对艦誘導弾



〈諸元、性能〉
 【誘導弾】全長約5.0m 直径約35cm 重量700kg
 〈概説〉
 対上陸戦闘に際して、洋上の艦船などを撃破する
 国産の対艦誘導弾

03式中距離地对空誘導弾(改善型)



〈諸元、性能〉
 【誘導弾】全長約4.9m 直径約28cm 重量454kg
 〈概説〉
 方面隊の作戦地域、重要地域などにおける部隊、施設を^{えん}掩護する
 国産の対空誘導弾

V-22 (オスプレイ)



〈諸元、性能〉
 乗員3名+24名
 航続距離約2,600km
 全幅15.5m 全長17.5m 全高6.7m
 最大速度約280kt
 〈概説〉
 飛行速度、航続距離及び飛行高度の性能に優れ、滑走路のない離島においても離着陸可能であることから、島嶼への侵攻対処のみならず、災害救援や離島の急患輸送にも活用

ネットワーク電子戦システム



〈概説〉
 電波の収集・分析及び通信の無力化により、作戦を有利にする装置

16式機動戦闘車



〈諸元、性能〉
 乗員4名 全幅約3m
 全長約8.5m 全高約2.9m
 最高速度約100km/h
 105mm施線砲 12.7mm重機関銃
 74式車載7.62mm機関銃
 〈概説〉
 空輸性及び路上機動性に優れ、軽戦車などを撃破する装輪式の国産装甲戦闘車

19式装輪自走155mmりゅう弾砲



〈諸元、性能〉
写真は試作品
 全幅約2.5m
 全長約11.2m
 全高約3.4m
 最高速度90km/h以上
 155mmりゅう弾砲
 〈概説〉
 各種事態において迅速かつ機動的な運用が可能な自走りゅう弾砲

10式戦車



〈諸元、性能〉
 乗員3名 全幅3.2m
 全長9.4m 全高2.3m
 最高速度約70km/h
 120mm滑腔砲 12.7mm重機関銃
 74式車載7.62mm機関銃
 〈概説〉
 対機甲戦闘・機動打撃などで使用する国産戦車。C4I(指揮・統制・通信・コンピューター・情報)機能が特徴

水陸両用車(人員輸送型)



〈諸元、性能〉
 全幅3.3m 全長8.2m
 全高3.3m
 12.7mm重機関銃
 40mm自動てき弾銃
 〈概説〉
 海上機動性及び防護性に優れ、島嶼部へ海上からの部隊などを投入する装軌式の水陸両用車両

UAV (中域用)



〈諸元、性能〉
 全幅3.1m
 全長1.7m
 可視及び赤外線カメラ搭載
 〈概説〉
 遠距離から艦艇・車両等の情報収集が可能

多用途ヘリコプター (UH-2)



〈諸元、性能〉
 乗員2名+11名
 全幅2.9m
 全長13.1m
 全高3.7m
 最大速度約130kt
 〈概説〉
 UH-1Jの後継機として人員輸送や物資輸送等、部隊の迅速な展開が可能

※ 回転翼機及びティルト・ローター機の全長・全幅・全高はローター径を含まない数値



■ 海上自衛隊の装備品

「いずも」型護衛艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量19,950t 乗員約470名
 長さ248m 幅38m 深さ23.5m 速力30kt
 高性能20mm機関砲 SeaRAM 魚雷防御装置
 〈概説〉
 統合運用や災害派遣時の司令塔的役割など
 多用途な任務に対応するヘリコプター搭載
 型護衛艦

P-1 哨戒機



〈諸元、性能〉
 乗員11名 最大速度約450kt
 全幅35.4m 全長38.0m 全高12.1m
 〈概説〉
 警戒監視、対潜水艦戦や捜索・救難などの
 幅広い任務に従事する国産の主力固定翼哨
 戒機

「たいげい」型潜水艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量3,000t 乗員約70名
 長さ84m 幅9.1m 深さ10.4m
 速力20kt
 〈概説〉
 リチウムイオン電池を搭載し、探知能力及
 び被探知防止能力を大幅に向上した潜水艦

「まや」型護衛艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量8,200t 乗員約300名
 長さ170m 幅21.0m
 深さ12.0m 速力30kt
 高性能20mm機関砲
 VLS装置 魚雷発射管
 SSM装置 62口径5インチ砲
 哨戒ヘリコプター
 〈概説〉
 最新鋭のイージス護衛艦

「もがみ」型護衛艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量3,900t 乗員約90名
 長さ133m 幅16.3m
 長さ9.0m 速力30kt
 SeaRAM VLS装置 SSM装置
 62口径5インチ砲
 簡易型機雷敷設装置
 〈概説〉
 船体のコンパクト化、省人化も
 実現した護衛艦

「あわじ」型掃海艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量690t 乗員約50名
 長さ67m 幅11m
 長さ5.2m 速力14kt
 20ミリ遠隔管制機関砲
 掃海装置一式
 〈概説〉
 高い機雷捜索能力を保有する掃
 海艦

「おすみ」型輸送艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量8,900t 乗員約135名
 長さ178m 幅25.8m
 長さ17.0m 速力22kt
 高性能20mm機関砲
 輸送用エアクッション艇
 〈概説〉
 被災者に対する医療、補給設備
 などを設置しており、多面的な
 活用が可能な輸送艦

砕氷艦「しらせ」



〈諸元、性能〉
 基準排水量12,650t
 乗員約175名
 長さ138m 幅28m
 長さ15.9m 速力19kt
 観測隊員約80名
 大型ヘリコプター
 〈概説〉
 南極観測の支援を任務とし、4
 代目となる砕氷艦

「ましゅう」型補給艦



〈諸元、性能〉
 基準排水量13,500t
 乗員約145名
 長さ221m 幅27.0m
 長さ18.0m
 速力24kt 洋上補給装置
 補給品艦内移送装置
 〈概説〉
 補給能力が大幅に向上した補給
 艦

US-2 救難飛行艇



〈諸元、性能〉
 乗員11名
 最大速度約320kt
 全幅33.2m 全長33.3m
 全高9.8m
 〈概説〉
 波高3mの洋上でも離着水可能
 であり、洋上での救難に従事す
 る救難飛行艇

SH-60K 哨戒ヘリコプター



〈諸元、性能〉
 乗員4名
 最大速度約140kt
 全幅4.4m 全長15.9m
 全高3.9m
 〈概説〉
 護衛艦に搭載し、護衛艦と共に
 多様な任務に従事する主力哨戒
 ヘリコプター

航空自衛隊の装備品



F-35A 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1名 最大速度マッハ約1.6
全幅10.7m 全長15.6m 全高4.4m
25mm機関砲 空対空ミサイル

〈概説〉

高いステルス性能のほか、これまでの戦闘機から格段に進化したシステムを有する最新鋭の戦闘機

RQ-4B(グローバルホーク)



〈諸元、性能〉

全幅39.9m 全長14.5m 全高4.7m
航続時間約36時間 最大速度約570km/h
最大高度約60,000ft

〈概説〉

各種センサーによって、夜間や悪天候下でも地上の静止目標の情報収集可能な能力を有する無操縦者航空機

F-15 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1名/2名 最大速度マッハ約2.5
全幅13.1m 全長19.4m
全高5.6m 20mm機関砲
空対空ミサイル

〈概説〉

優れた運動性を誇る空自の主力戦闘機であり、国籍不明機への緊急発進など、空の守りを担う

F-2 戦闘機



〈諸元、性能〉

乗員1名/2名 最大速度マッハ約2.0
全幅11.1m 全長15.5m
全高5.0m 20mm機関砲
空対空ミサイル
空対艦ミサイル

〈概説〉

日米で共同開発され、優れた技術が結集されている戦闘機

C-2 輸送機



〈諸元、性能〉

乗員2~5名+110名 最大速度マッハ約0.82
全幅44.4m 全長43.9m
全高14.2m 航続距離約7,600km (20t搭載時)

〈概説〉

戦術輸送能力の強化、国際平和協力活動などへの積極的な取組のため開発された国産輸送機

UH-60J 救難ヘリコプター



〈諸元、性能〉

乗員5名 最大速度約140kt
航続距離約1,300km
全幅5.4m 全長15.7m
全高3.8m

〈概説〉

遭難者を救助する救難ヘリコプター。右前方下部に空中受油装置を装備

KC-46A 空中給油・輸送機



〈諸元、性能〉

乗員3~14名+104名 最大速度マッハ約0.86
航続距離約9,400km(20t搭載時)
全幅47.6m 全長50.4m
全高16.1m

〈概説〉

ボーイング767型機を開発母機とした最新の空中給油・輸送機

E-767 早期警戒管制機



〈諸元、性能〉

乗員20名 最大速度約450kt
航続距離約9,000km
全幅47.6m 全長48.5m
全高16.0m

〈概説〉

速度性能や航続性能に優れた早期警戒管制機

J/FPS-7 警戒管制レーダー



〈概説〉

航空機などの従来型の脅威と弾道ミサイルの双方に対応可能な固定式警戒管制レーダー

パトリオットPAC-3 地対空誘導弾



〈概説〉

弾道ミサイル防衛の下層迎撃を担う地対空誘導弾であり、弾道ミサイル発射事象に際しては、適所に展開して対応する。

理想の未来を実現する多種多様なコース

コース	特徴	対象年齢
<p>COURSE 01 陸上自衛隊 高等工科学校生徒</p>  <p>QRコードで 動画もチェック!</p>	<p>高機能化・システム化された装備品を運用する陸上自衛官となる者を養成するための学校です。国際社会においても自信をもって対応できる自衛官を育てます。</p>	<p>17歳未満の男子 中卒(見込)を含む</p>
<p>COURSE 02 自衛官候補生</p> 	<p>自衛官となるために必要な基礎的教育訓練を経て、任用期間が定められた「任期制自衛官」に任官します。様々な訓練や職務を通じた技術の習得、任期満了後の再就職に向けた資格の取得など、希望に合った将来設計が描けます。</p>	<p>18歳以上 33歳未満 32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者</p>
<p>COURSE 03 一般曹候補生</p> 	<p>部隊の基幹隊員である陸・海・空自衛官を養成する制度です。入隊後、教育課程や部隊勤務で知識や経験を積み、それぞれの職域のプロとして活躍します。自衛官の基礎知識はもちろん専門的な技能まで、じっくりと着実に身に付けることができます。</p>	<p>18歳以上 33歳未満 32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者</p>
<p>COURSE 04 航空学生</p> 	<p>海自または空自のパイロットなどを養成します。団体生活を送りながら各種訓練を受け、戦闘機、哨戒機、輸送機、ヘリコプターのパイロットなどに最年少でなることができます。</p>	<p>18歳以上 21歳未満 海上自衛隊航空学生は18歳以上23歳未満</p>
<p>COURSE 05 防衛大学校学生</p> 	<p>将来、各自衛隊の幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。広い視野、科学的な思考、豊かな人間性を持ち、想像力と活力に溢れる幹部自衛官となるため、知育以外に徳育と体育を重視しています。</p>	<p>18歳以上 21歳未満</p>
<p>COURSE 06 防衛医科大学校 医学科学生</p> 	<p>将来、医師である幹部自衛官となる者を6年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。医師としての知識や技能のほかに、生命の尊厳への理解やあらゆる任務を遂行できる強靱な体力も養います。</p>	<p>18歳以上 21歳未満</p>
<p>COURSE 07 防衛医科大学校 看護学科学生 (自衛官候補看護学生)</p> 	<p>将来、看護師・保健師である幹部自衛官となる者を4年間の教育訓練と全寮制の規律ある団体生活を通じて養成します。看護専門職者としての優れた教養・知識・技能の実践を通じて、防衛省・自衛隊の国内外における活動に貢献できる人材を育成します。</p>	<p>18歳以上 21歳未満</p>
<p>COURSE 08 一般幹部候補生</p> 	<p>防衛大学校卒業者ととともに陸・海・空自衛隊それぞれの幹部候補生学校において、自衛隊組織の骨幹である幹部自衛官として必要な知識と技能を学びながら、その資質を養います。</p>	<p>26歳未満 大学院卒は28歳未満</p>
<p>COURSE 09 自衛隊貸費学生</p>  <p>募集のHPもチェック!</p>	<p>自衛隊の装備品の研究開発分野で活躍する人材を、大学理学部・工学部や大学院修士課程の在籍生から選考により採用し、学資金を貸与して修学を助成、卒業後は所定の手続きにより、一般幹部候補生として採用されます。</p>	<p>25歳未満 大学卒業時点で26歳未満 修士課程在籍者は27歳未満 (課程修了時点で28歳未満)</p>
<p>COURSE 10 予備自衛官補</p> 	<p>社会人や学生といった自衛官未経験者であっても「予備自衛官補」として採用後、所定の教育訓練を経て「予備自衛官」に任命され、各種事態において自衛官として社会に貢献できます。「一般」と「技能」(語学、医療など)のコースがあります。</p>	<p>18歳以上 34歳未満 技能公募はこれに限らず</p>

自衛官になるといっても、その進路は多種多様。

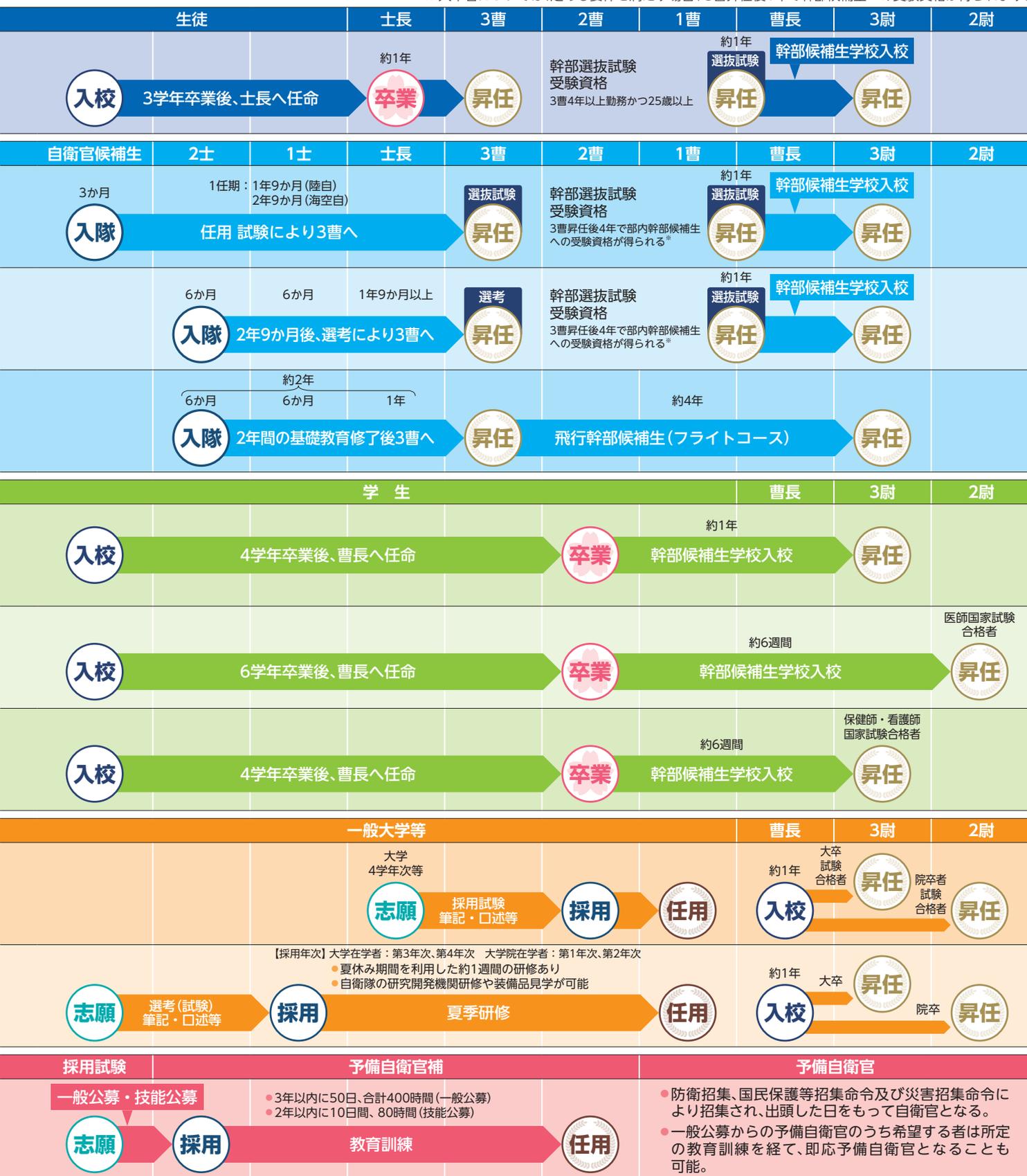
「なりたい自分になる」ために、自分の適性や希望にあうものを探してみましょう。

また、防衛省・自衛隊では、多くの防衛事務官や防衛技官の方々も活躍しています。

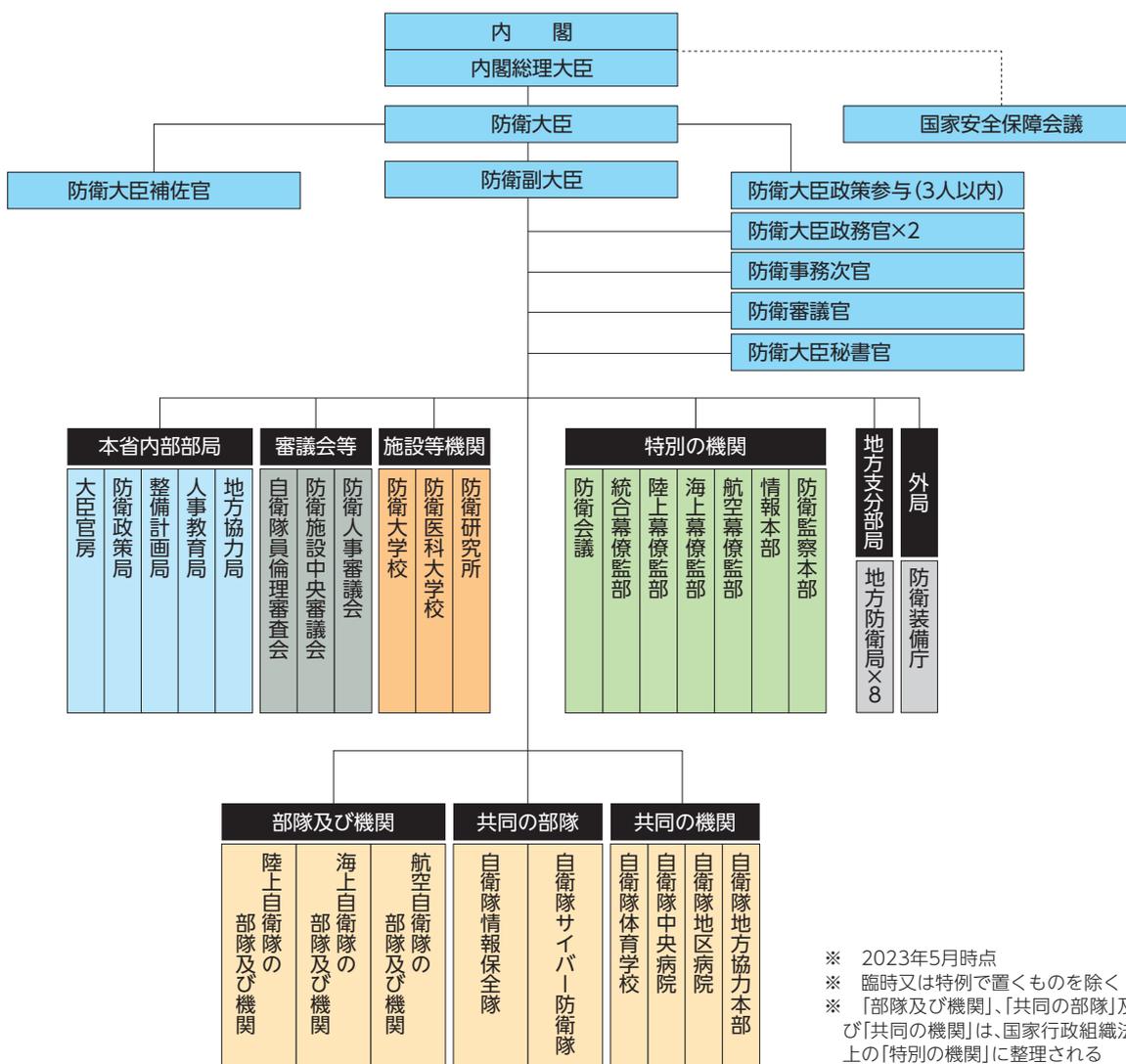
防衛事務官・防衛技官等
採用区分についてはこちら



※大卒者については、定める要件を満たす場合、3曹昇任後1年で幹部候補生への受験資格が得られます。



防衛省・自衛隊の組織図



主要部隊などの所在地（イメージ） （令和4（2022）年度末現在）



主な広報施設のご案内



市ヶ谷台ツアー (※要予約)

見学概要

防衛省の心臓部とも言える市ヶ谷地区の見学ツアーです。市ヶ谷地区に所在する庁舎や極東国際軍事裁判の法廷となった大講堂などを移設・復元した市ヶ谷記念館や大本営地下壕跡などをご案内します。

見学時間 ①09:30~11:20 (午前) ②13:30~15:50 (午後)

開催日 平日のみ **料金** 午前(無料)、午後(700円 ※18歳未満は無料)

駐車場 なし(お車でのご来場はご遠慮ください。)

所在地 〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1

ご予約・お問い合わせ 記念館係: 03 (3268) 3111 (内線: 21904)



陸上自衛隊広報センター りっくんランド

見学概要

災害派遣や国際平和協力活動など分かりやすく紹介。多数の装備品を館内・屋外に展示しています。操縦を疑似体験できるシミュレーター、90式戦車や操縦席に座って写真が撮れるなど、お子様から大人まで楽しめる、見て、触れて、体感できる施設です。

開館時間 10:00~17:00

休館日 月曜日、第4火曜日(祝祭日の場合は翌日)、年末年始

料金 無料 **駐車場** あり(無料)

所在地・交通 〒178-8501 東京都練馬区大泉学園町

お問い合わせ 03 (3924) 4176



海上自衛隊呉史料館 てつのかくら館

見学概要

海上自衛隊の歴史や、呉市と海上自衛隊の歴史的な関わりについて紹介しています。魚雷や掃海艇などの装備品や、機雷を除去する掃海作業の様子も必見です。また、実物の潜水艦を屋外に展示し、ふれあいながら見学することができる貴重な史料館です。

開館時間 09:00~17:00 (最終入館: 16:30)

休館日 火曜日(祝祭日の場合は翌日)、年末年始

料金 無料 **駐車場** あり(有料)

所在地 〒737-0029 広島県呉市宝町5番32号

お問い合わせ 0823 (21) 6111



航空自衛隊浜松広報館 エアパーク

見学概要

「見て体験して楽しむ」をコンセプトとし、歴代ブルーインパルスなど多数の航空機の実物が展示されています。また、パイロット訓練生と同じ飛行コースを体験できるシミュレーションなど、大空を飛びパイロット気分を心ゆくまで満喫することができます。

開館時間 09:00~16:00

休館日 月曜日(祝祭日の場合は翌日)、毎月最終火曜日、3月第2週の火曜日~木曜日、年末年始

料金 無料 **駐車場** あり(無料)

所在地 〒432-8551 静岡県浜松市西区西山町

お問い合わせ 053 (472) 1121



防衛大学校ツアー (※要予約)

見学概要

帽子投げで有名な記念講堂、本校の歴史が一目でわかる資料館、学生が生活する学生舎(外観)、防大グッズが購入できる学生会館などをご案内します。午後の見学では、「学生の行進」がご覧になれます。(都合により行わない場合もあります)

見学時間 ①09:20~11:20 (午前) ②12:10~14:20 (午後)

開催日 平日の月曜日(午後)、水曜日(午前・午後)、金曜日(午後)

料金 無料 **駐車場** 事前にお問合せください。

所在地 〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1-10-20

ご予約・お問い合わせ 広報ツアー係: 046 (841) 3810 (内線: 2019)



防衛省・自衛隊 公式コンテンツのご案内

	防衛省ホームページ ▶		防衛省公式アカウント ▶
	◀ 防衛省公式アカウント		◀ 防衛省公式チャンネル
	防衛省公式アカウント ▶		そのほかの防衛省・自衛隊公式SNSはこちらからチェック!

各自衛隊・機関などのホームページ

	統合幕僚監部 Joint Staff https://www.mod.go.jp/js/		NIDS 防衛研究所 National Institute for Defense Studies http://www.nids.mod.go.jp/
	陸上自衛隊 https://www.mod.go.jp/gsdf/		情報本部 Defense Intelligence Headquarters https://www.mod.go.jp/dih/
	海上自衛隊 Japan Maritime Self-Defense Force https://www.mod.go.jp/msdf/		IGO COMPLIANCE 防衛省 防衛監察本部 Inspector General's Office of legal compliance https://www.mod.go.jp/igo/
	航空自衛隊 Japan Air Self-Defense Force https://www.mod.go.jp/asdf/		地方防衛局 https://www.mod.go.jp/rdb/
	防衛大学校 National Defense Academy https://www.mod.go.jp/nda/		防衛装備庁 Acquisition, Technology & Logistics Agency ATLA https://www.mod.go.jp/atla/
	防衛医科大学校 National Defense Medical College https://www.mod.go.jp/ndmc/		自衛官募集 Japan Self-Defense Forces https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/
	陸上自衛隊 高等工科学校 https://www.mod.go.jp/gsdf/yt_sch/		防衛省・自衛隊のイベント https://www.mod.go.jp/j/publication/events/index.html

まるわかり! 日本の防衛
はじめての防衛白書 第3版



小学校高学年、中学生、高校生のみにも
令和5年版防衛白書をわかりやすく説明しています。
大人の方にも短い時間で防衛白書全体の内容が分かるのでおすすめです。

<https://www.mod.go.jp/j/kids/wp/index.html>